

## 紹介状なし受診 5000円追加徴収

### 大病院の5割超「困った」

#### 厚労省調査

大病院を紹介状なしに受診した際、5千円以上の追加負担が徴収される制度が導入された2016年4月以降、対象病院の5割超

が徴収時の対応で「困ったことがあった」と答えたことが31日、厚生労働省の調査で分かりました。高すぎて受診をやめる患者がいたなど、受診抑制に拍車をかけている実態が浮き彫りになりました。

追加負担の徴収は、

窓口負担と別に初診患者は5千円以上再診は2500円以上の支払いが求められます。

調査結果では、回答した病院の55・5%が徴収時の対応に困ったことと回答。「5400円が高額のため、診療をとりやめる患者が多い」と主張。対象となる患者・病院のさらなる拡大を求めました。

調査は、診療報酬の前回16年度改定結果を検証したもの。対象病院のうち234件に郵送し、有効回答率は81・6%でした。

国が医療費削減を狙つて500床以上の大病院に義務付けたもの。

者への追加負担の導入で「患者が減るという不安が大きい」との意見も寄せられました。

一方、調査結果が示された同日の中央社会保険医療協議会（厚労相の諮問機関）の部会で健康保険組合連合会の委員は、救急患者や生活保護受給者は徴収対象外のため「（受診）抑止力になつていない」と主張。対象となる患者・病院のさらなる拡大を求めました。

### 受診抑制鮮明「診療やめる患者いる」